

上海周辺海域で機械故障を起こさぬようご注意ください

こちらは、英文記事「[Avoid machinery failures in Shanghai waters](#)」（2022年1月13日付）の和訳です。



上海周辺海域では機械故障事故に対する調査が強化されていますが、中国で船舶に乗り込む陸上職員に厳格な新型コロナ検疫要件が課されていることもあり、船級検査や調査に大幅な時間と費用がかかる恐れがあると、主要船級協会が警告しています。

2022年1月6日付の Gard 記事「[長江の水先人の検疫に伴う法的リスク](#)」および1月7日付の「[新型コロナウイルス陽性となった船員の中国での扱いについて](#)」に記したとおり、中国の新型コロナに対するゼロトランス政策は船員にとって非常にストレスが大きく、船舶運航者と傭船者の双方にとっても困難で費用面での負担が大きいものになっています。現在、ロイド船級協会（LR）は [Class News 01/2022](#) で、中国の港や泊地に停泊している船舶への立ち会いにクラスサーベイヤーを手配することも非常に困難になっていると警告しています。

背景

2020年12月、上海沖の長江口（CJK）の深水航路で、船員8名が死亡する大規模な衝突事故が発生しました。この事故は船舶の操舵装置の故障が原因とされており、それを受け、上海海事局（MSA）は今後同様の事故を回避する手段として、上海当局の管轄海域で機械故障が発生した場合

に調査を実施するための厳格なプロセスの導入を決定しました。また、上海 MSA は、調査中に重大な欠陥が判明した場合は、拘留の対象となることを業界に通知しています。詳細については、[Shanghai MSA's Safety Notice 01/2021（上海 MSA の安全に関する警告 01/2021）](#) をご参照ください。

パンデミック時の立ち会い調査

LR によると、現在、上海当局の管轄海域で機械故障が発生した場合、新型コロナ抑止措置の一環として、調査を実施するための一時的なプロセスが導入されています。このプロセスでは、機械故障事故が起こった場合、その船の認定代行機関（RO）が乗船して根本原因の調査や必要に応じて臨時検査や追加検査を実施することが求められます。RO の報告書は上海 MSA が精査・確認します。ただし、中国の港や泊地に停泊している船舶に乗船する陸上職員に対しては、厳格な検疫要件が設けられているため、RO サーベイヤーの立ち会いは非常に難しく、時間も費用もかかることが予想されると LR は警告しています。

推奨事項

上海当局の管轄海域のような輻輳海域で機械故障が発生してしまい、クラスサーベイヤーの立ち会いが必要となるような事態を避けるために、LR は船舶運航者に次のことを推奨しています。

- 船舶の機械設備のメンテナンスが確実に実施され、適切に記録されるよう、効果的な安全管理システムを実装すること。
- 上海当局の管轄海域に入る前に、推進システム、操舵装置システム、航行システムを事前にチェックし、テストすること。
- [中国国内の排出規制区域](#)に入る前に、船員が低硫黄燃料に切り替えるための十分な時間を確保すること。
- 万一、故障が発生した場合は、直ちに現地当局、旗国の行政機関、船級協会に報告すること。

中国、特に上海港に向けて航行する場合は、上記の推奨事項に留意し、該当する船級協会に中国でのサーベイの必要性について確認することをお勧めします。現地の情報源によると、上海 MSA は、RO が遠隔調査ツールを使用して必要な検査の一部を実施することを認める可能性があります。ただし、認められるか否かは具体的な状況と欠陥の重大性により異なるため、個別に事前合意する必要があります。

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gard は本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されております。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。